

4. 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

(1) 積立金の明細

(単位：円)

| 区分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|---------------|---------|-------------|-------------|---------|------|
| 通則法第44条第1項積立金 | - | 102,024,979 | 102,024,979 | - | (注1) |
| 前事業年度繰越積立金 | 923,331 | 49,265,536 | 49,586,725 | 602,142 | (注2) |
| 計 | 923,331 | 151,290,515 | 151,611,704 | 602,142 | |

(注1)

当期増加額は、前事業年度の未処分利益からの積立てによるものである。

当期減少額は、注記の積立金の国庫納付等を参照のこと。

(注2)

当期増加額は、前事業年度の終了に伴い、以下の理由で積立金の繰越の承認を受けた額である。

①前払費用（保険料等）の費用化相当額 39,610,254円

②たな卸資産（制服等）の費用化相当額 9,655,282円

当期減少額は、附属明細書の4.(2)目的積立金の取崩しの明細を参照のこと。

(注記)

| |
|---|
| ○ 積立金の国庫納付等 |
| 1 前事業年度の積立金の期末残高は923,331円であり、これに前事業年度の未処分利益101,101,648円を加えると、積立金は102,024,979円となる。 |
| 2 この積立金102,024,979円のうち、今事業年度の業務の財源として繰越の承認を受けた額は49,265,536円であり、差し引き52,759,443円については国庫に納付した。 |

(2) 目的積立金の取崩しの明細

(単位：円)

| 区分 | 金額 | 摘要 |
|---------------|------------|---------------------|
| 前事業年度繰越積立金取崩額 | 48,663,394 | たな卸資産および前払費用の費用化相当額 |
| その他 | 923,331 | 年度目標期間終了時の積立金への振替 |
| 計 | 49,586,725 | |